

2020. 10. 8

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2020年 上半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2020 年上半期)

2020 年上半期（1～6 月）は、新型コロナウイルスが世界全体のパンデミックに広がり、世界経済およびわが国の経済にも深刻な影響を与えた。日本では、4 月以降約 2 カ月の緊急事態宣言により、経済活動は一時的に停滞、設備投資、消費など過去にない落ち込みとなり、物流や人の往来の制限により、輸出やサプライチェーンの分断で、国内外の経済が混乱した。

こうした中、繊維需要は、緊急事態宣言に伴う、小売店舗の臨時休業や各種のイベントの中止、延期などが影響し、末端の衣料需要は大きく落ち込んだ。また、自動車生産、公共工事などが大幅に減少した影響から、自動車関連、産業資材関連など非衣料分野についても、衛材需要などの一部を除き、ほぼ全ての用途で大きく需要が収縮することになった。こうした需要の落ち込みは、第 2 四半期以降の化繊需給に影響を与えている。

国 内

1) 衣料用：2020 年上半期の百貨店/量販店の衣料品売り上げは、第 1 四半期は昨年 10 月の消費増税引上げや暖冬等に伴う販売不振に加え、新型コロナウイルスの影響が見え始め減少したが、第 2 四半期は、多くの百貨店/量販店で緊急事態宣言に伴う休業措置が影響し、衣料品販売はかつてない落ち込みとなった。

家庭・インテリア用：新規住宅着工は、前年比 2 桁の大幅減により、インテリア需要は低調。一方で、除菌シート向け等の生活資材用途、医療衛材用途などの需要は大きく増加、当該製品の輸入も急増した。おむつについては、生産、輸出とも中国向けを中心に減少が続いた。

産業資材用：2020 年上半期の自動車生産が大幅減となり、自動車関連部品の需要は安定。土木資材用、建築資材用は建築受注の失速で低調となった。

繊維需要関連の各種指標

(前年比増減：%)

	家計消費	百貨店 衣料品売上	量販店 衣料品売上	自動車 生産	新規住 宅着工	建築 受注
2016	-6.0	-5.8	-5.2	-0.8	6.4	5.7
2017	-0.9	-2.2	-2.3	5.3	-0.3	-3.1
2018	-0.2	-3.1	-5.3	0.4	-2.3	0.1
2019	-1.6	-4.0	-7.1	-0.5	-4.0	2.2
2020 1～3 月	-13.2	-21.2	-12.5	-7.6	-11.2 (1～6 月)	-9.2 (1～6 月)
2020 4～6 月	-32.5	-58.6	-30.2	-47.9		

- 2) 新型コロナウイルスの影響を受け、繊維工業の生産活動は大きく停滞した。生産指数は、繊維工業全体では、2020年第2四半期は80.1と前年同期(92.6)に比べ、12.5ポイント下落した。業種別にみると、全てのセクターで、2020年第2四半期は、前期比で大幅減となった。

繊維工業の段階別生産指数

(2015=100)

	繊維工業 全体	繊維	織物	染色整理	繊維製品 粗製品
2019年 第1四半期	94.1	91.6	100.4	98.7	90.3
2019年 第2四半期	92.6	90.2	100.1	98.4	87.7
2019年 第3四半期	92.3	88.8	101.3	97.5	88.4
2019年 第4四半期	89.2	85.9	97.2	96.9	84.7
2020年 第1四半期	89.9	88.8	93.1	95.3	86.3
2020年 第2四半期	80.1	79.0	83.0	82.7	78.2

- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで35.4億ドル・前年同期比(以下同じ)11.2%減、一方、円ベースで3,837億円・12.6%減。2020年上半期は、前年からの米中貿易摩擦の継続に加え、新型コロナウイルスの影響から輸出環境は悪化、輸出は大幅に減少した。

形態別(円ベース)では、繊維原料490億円・7.1%減、糸類466億円・18.4%減、織物1,065億円・19.1%減、二次製品他1,815億円・8.1%減。

仕向地別(円ベース)では、全体の27%のシェアを占める中国が16.2%減の1,044億円。韓国(3.7%減)、台湾(13.4%増)、香港(1.3%増)となった。アセアン地域は、これまで好調なベトナム(16.2%減)が大幅減となり、全体で14.4%減の960億円、シェアは25%と中国に接近している。米州は13.3%減、欧州は15.3%減となり、主要仕向地は軒並み新型コロナウイルスによる経済停滞の影響が直撃した形となった。

- 4) 繊維品輸入は、ドルベースで184.0億ドル・前年同期比(以下同じ)2.6%増、一方円ベースは1兆9,897億円・0.8%増。

形態別(円ベース)では、繊維原料298億円・21.8%減、糸類506億円・22.3%減、織物638億円・19.2%減、二次製品他1兆8,455億円・3.0%増。二次製品では、衣類は全体で13.8%の大幅減となったが、マスク、防護服等を含む二次製品の輸入が急増した。

仕出地別では、全体の59%を占める中国が9.9%増の1兆1752億円、マスク、防護服等を中心に新型コロナ対応物資の輸入急増が影響し、中国の輸入シェアは前年同期より5ポイント上昇した。韓国(15.8%減)、台湾(9.8%減)となった。アセアン地域は、ベトナムが横ばい(0.4%増)であったが、タイ(10.1%減)、インドネシア(13.1%減)が減少し、全体で3.6%減、シェアは前年同期から1ポイント下落の27%となった。それ以外では、イタリア(31.7%減)、フランス(23.0%減)などが、国内の衣料需要の収縮から大きく下落した。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2019年	2019年1～6月	2020年1～6月	前年同期比(%)
輸出	千ドル	8,125,894	3,990,229	3,542,217	-11.2
計	百万円	885,972	439,136	383,653	-12.6
繊維原料	百万円	103,397	52,710	48,971	-7.1
糸類	百万円	113,523	57,150	46,618	-18.4
織物類	百万円	269,429	131,672	106,524	-19.1
二次製品他	百万円	399,624	197,603	181,541	-8.1
輸入	千ドル	38,783,264	17,939,524	18,400,223	2.6
計	百万円	4,223,934	1,974,272	1,989,728	0.8
繊維原料	百万円	72,405	38,096	29,795	-21.8
糸類	百万円	121,756	65,175	50,625	-22.3
織物類	百万円	152,523	78,985	63,801	-19.2
二次製品他	百万円	3,877,250	1,792,017	1,845,508	3.0
(うち衣類)	百万円	(3,204,538)	(1,465,861)	(1,263,447)	-13.8
輸出レート	円/ドル	109.0	110.1	108.3	-1.6
輸入レート	円/ドル	108.9	110.1	108.1	-1.7

(出所) 財務省

- 5) 2020年上半期の化繊生産は前年同期比9.3%減の37.8万トと続落した。うちセルロース繊維は同4.3%増の9.0万ト、合繊は同12.8%減の28.8万トであった。合繊生産を品種別にみると、ナイロンFは同15.0%減の3.3万ト、ポリエステルFは同13.5%減の5.1万ト、同Sは同5.0%減の4.0万ト、アクリルSは同28.4%減の4.0万トとなった。
- 6月末在庫は前年同期比13.7%増の10.6万トとなった。うちセルロース繊維は同14.3%増の2.8万ト、合繊は同13.5%増の7.9万トとなった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は前年同期比10.8%減の23.4万トとなった。

形態別は、繊維原料は同3.1%減の9.5万ト、糸類は同18.2%減の4.3万ト、織物類(面積ベース)は同24.0%減の2.36億㎡、二次製品は同10.7%減の5.6万トであった。

品種別は、セルロースSは前年同期比113.9%の大幅増、ナイロンFは同23.1%減、ポリエステルFは同10.7%減、ポリエステルSは同10.2%減、アクリルSは同21.4%減となった。化繊不織布は同1.2%減の2.5万トンとなった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は前年同期比7.1%減の68.6万トン。

形態別は、繊維原料は同13.2%減の4.5万トン、糸類は同13.8%減の9.3万トン、織物類（面積ベース）は同11.4%減の3.03億㎡、二次製品は同3.8%減の48.9万トン、そのうち衣類は同9.9%減の18.4万トンとなった。

品種別は、セルロースSは同13.5%減、ナイロンFは同17.7%減、ポリエステルFは同13.4%減、同Sは同16.2%減となった。化繊不織布は同6.8%増の12.2万トンとなった。

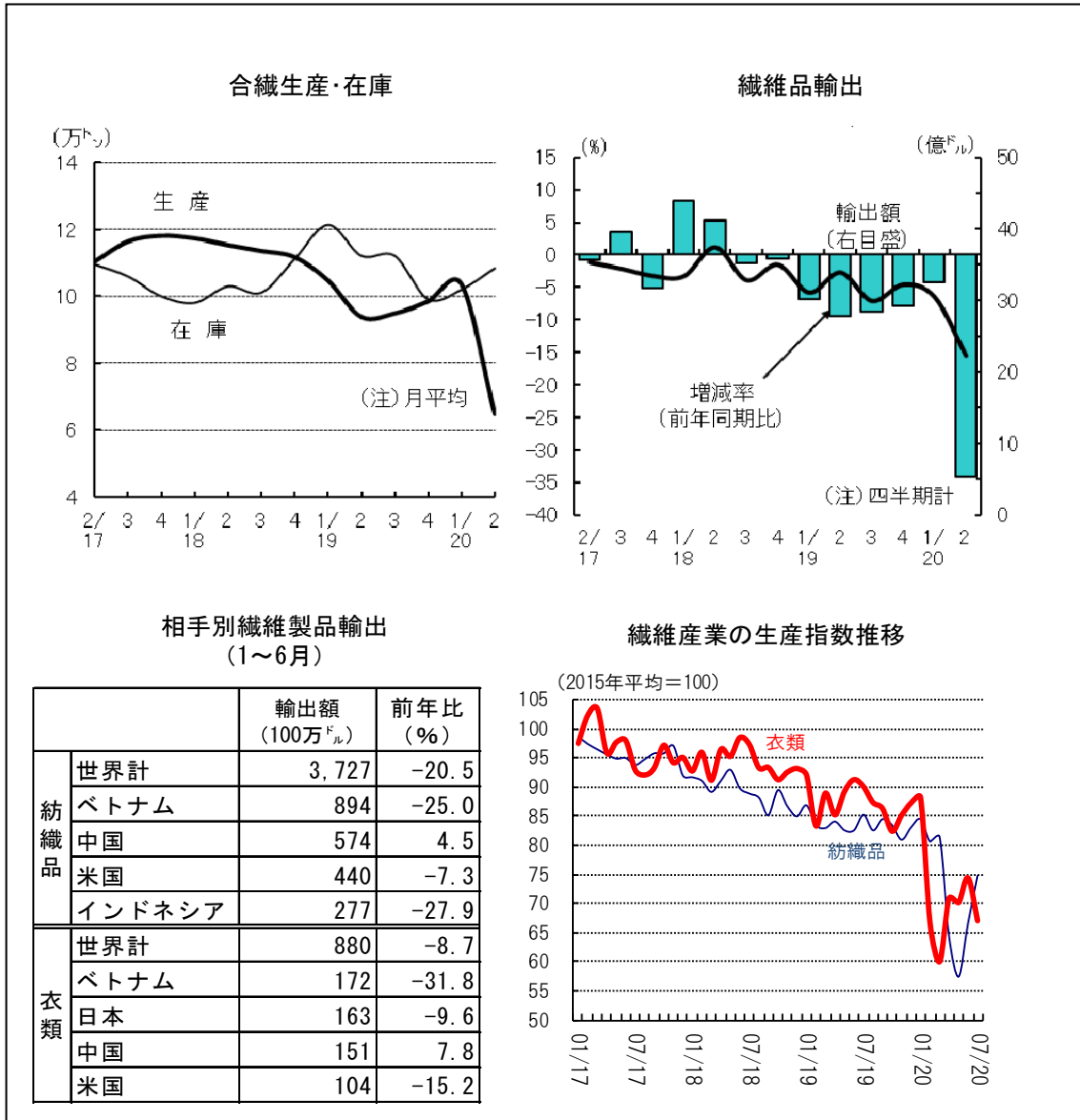
化学繊維の主要指標

項目	単位	2019年	2019年1～6月	2020年1～6月	2018年比(%)
化繊生産	千トン	817,884	416,189	377,657	-9.3
セルロース	〃	164,642	85,888	89,606	4.3
合 織	〃	653,242	330,301	288,051	-12.8
期末化繊在庫	〃	87,607	93,507	106,298	13.7
セルロース	〃	19,234	24,225	27,678	14.3
合 織	〃	68,373	69,282	78,620	13.5
化繊輸出	千トン	521,252	261,942	233,654	-10.8
	100万ドル	4,993,695	2,457,996	2,097,945	-14.6
	百万円	544,503	270,518	227,227	-16.0
繊維原料	千トン	191,035	98,178	95,177	-3.1
糸 類	〃	105,403	52,673	43,086	-18.2
織物類	百万㎡	614,000	310,156	235,788	-24.0
二次製品	千トン	125,703	62,728	56,041	-10.7
化繊輸入	千トン	1,649,040	738,175	685,988	-7.1
	100万ドル	17,961,071	7,472,645	6,838,189	-8.5
	百万円	1,954,048	822,251	740,109	-10.0
繊維原料	千トン	103,294	52,311	45,428	-13.2
糸 類	〃	209,652	108,335	93,437	-13.8
織物類	百万㎡	676,487	341,301	302,550	-11.4
二次製品他	千トン	1,199,238	508,287	489,084	-3.8
(うち衣類)	〃	558,581	204,419	184,209	-9.9

(出所) 経済産業省、財務省

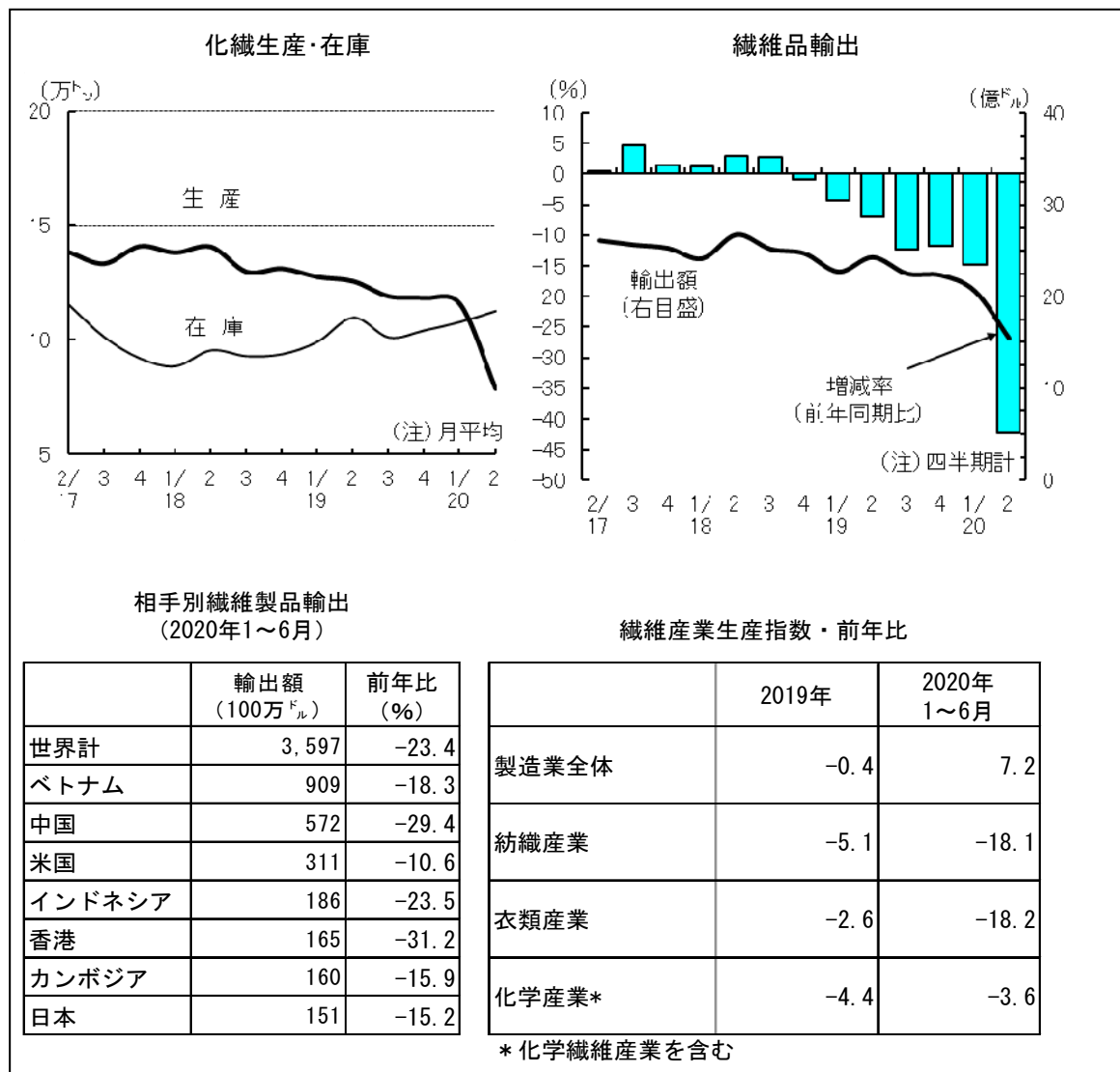
(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

(6) 韓国



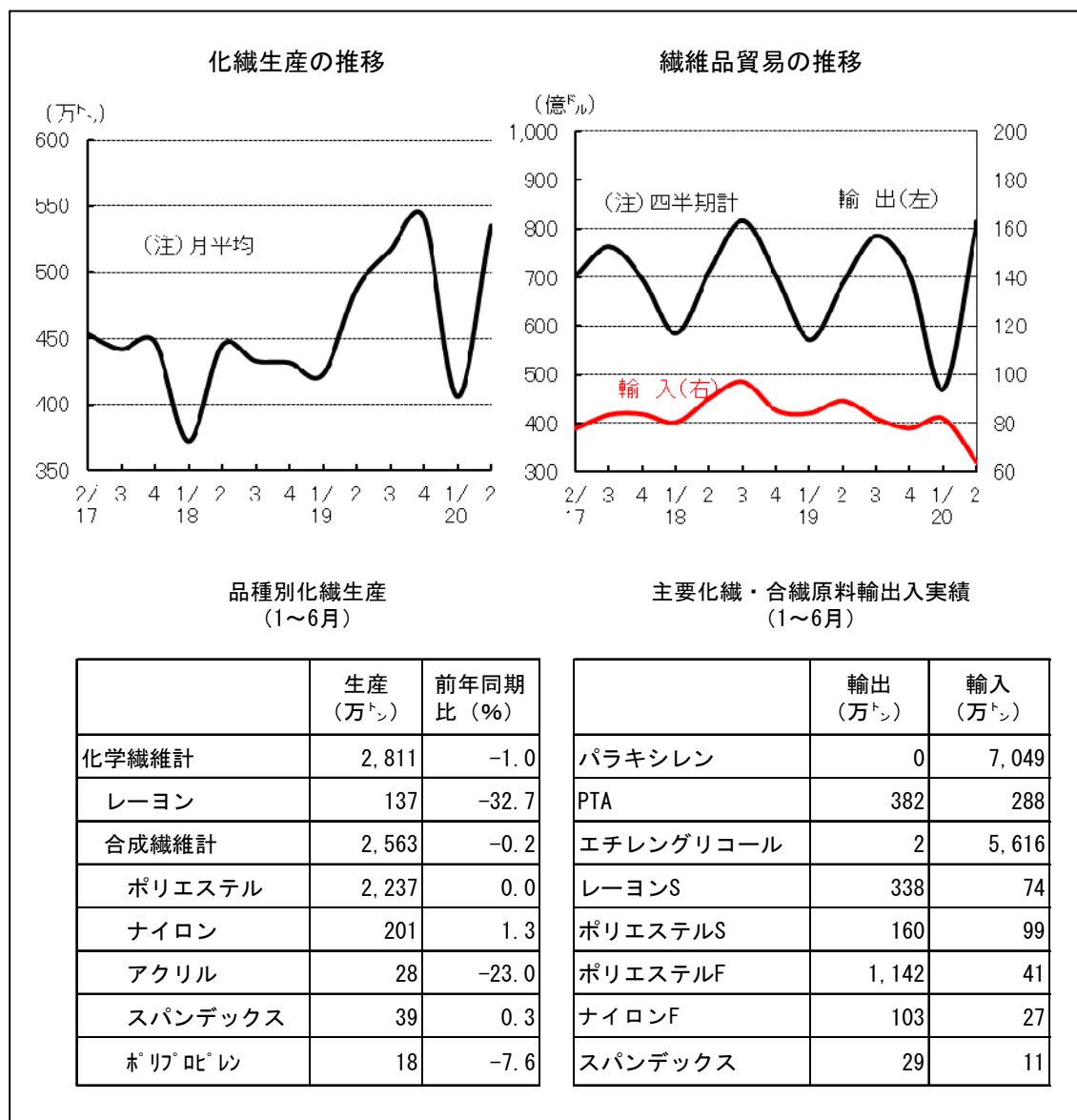
- ◆2020 年上半期の化繊生産、繊維品輸出とも、新型コロナウイルスの影響から、特に第 2 四半期に大きく減少した。
- ◆2020 年上半期 (1~6 月) の合繊生産は前年同期比 15.2%減の 50.2 万トンとなった。四半期ベースでは、1-3 月が同 1.1%減にとどまったものの、4-6 月は同 31.0%減と急減した。上半期の主要合繊の生産は、ナイロン F は同 36.0%減、ポリエステル F は同 23.5%減、ポリエステル S は同 3.4%減、アクリル S は同 25.8%減となった。
- ◆2019 年上半期の繊維品輸出は前年同期比 18.8%減の 52.9 億ドルとなった。1~6 月の繊維製品輸出を相手別にみると、紡織品、衣類とも最大のベトナム向けは大幅減となる一方、中国向けは増加した。

(7) 台湾



- ◆2020 年上半期の化繊生産、繊維品輸出とも、新型コロナウイルスの影響から、特に第 2 四半期に大きく減少した。
- ◆2020 年上半期の化繊生産は前年同期比 23.3%減の 58.3 万トとなった。四半期ベースでは第 1 四半期は同 9.3%減に対して第 2 四半期は同 37.5%減と急減した。上半期の主要合繊の生産は、ナイロンFは同 28.1%減、ポリエステルFは同 27.2%減、ポリエステルSは同 8.1%減となった。
- ◆2020 年上半期の繊維品輸出は前年同期比 23.4%減の 36.0 億ドルとなった。繊維品輸出を相手別にみると、主要仕向地は軒並み大幅減、最大のベトナム向けは同 18.3%減、中国向けは 29.4%減となった。
- ◆2020 年上半期の主要繊維産業の生産指数は、紡織産業、衣類産業とも大幅なマイナス成長が続いている。

(8) 中国



- ◆2020年上半期は、第1四半期は生産、輸出とも新型コロナウイルスの影響から大幅に落ち込んだが、第2四半期に入り徐々に回復傾向がみられている。
- ◆2020年上半期の化繊生産は前年同期比1.0%減の2,811万トンとなった。品種別には、ポリエステルは同横ばいの2,237万トン、ナイロンは同1.3%増の201万トン、アクリルは同23.0%減の28万トンとなった。上半期の紡績糸生産、織物生産は同15.8%減、同25.9%減の大幅減となった。
- ◆2020年上半期の繊維品輸出は、前年同期比1.9%増の1,284億ドルとなった。第1四半期は同19.6%減であったが、第2四半期はマスク等の衛材用品の輸出が急増、同14.1%増となった。一方、繊維品輸入は同15.9%減の146億ドルとなった。

品種別化繊生産 (1~6月)			繊維業界の主要指標 (1~6月)			
	生産 (万トン)	前年同期 比 (%)		単位	指標	前年比 (%)
化学繊維計	2,811	-1.0	企業数	万社	3.28	-
レーヨン	137	-32.7	赤字企業数	万社	1.07	53.7
合成繊維計	2,563	-0.2	主要企業売上	億元	18,939	-16.4
ポリエステル	2,237	0.0	うち化繊産業	億元	3,494	-18.4
ナイロン	201	1.3	利潤総額	億元	710	-18.8
アクリル	28	-23.0	うち化繊産業	億元	72	-41.9
スパンデックス	39	0.3	紡織産業実際投資	前年比	-	-22.4
ビニロン	4	-3.1	衣類産業実際投資	前年比	-	-37.9
ポリプロピレン	18	-7.6	化繊産業実際投資	前年比	-	-16.9

社会小売財消費総額 (限度額以上) (1~6月)				繊維関連物消費者物価指数 (1~6月)	
	単位	数値	前年比 (%)		前年同期比 (%)
商品売上総額	億元	172,256	-11.4	消費者価格指数・全製品	3.8
うち服装類	億元	5,120	-19.6	消費者価格指数・衣類等	-0.1

- ◆繊維産業の主要指標は、主要企業売上は前年同期比 16.4%減、利潤総額は同 18.8%減とともに 2 桁減となった。繊維産業の投資は各段階とも大幅に落ち込んだ。
- ◆社会小売材の消費総額（繊維品）は前年同期比 19.6%減と、期中の新型コロナ対応によるロックダウンが影響して大幅減となった。衣類等の消費者物価指数は前年同期比 0.1%減少した。

9) 米 国

・輸 入

2020年の1～7月の繊維製品輸入は前年同期比27.9%減の467.9億ドルとなった。仕出地別にみると、最大仕出国の中国が42.8%減の121.3億ドルと4割強減少したのをはじめ、ベトナムが11.1%減の74.1億ドル、インドが27.7%減の35.6億ドル、バングラデシュが18.7%減の30.1億ドルと主要仕出国はいずれも2桁の大幅減となった。

上記に対し、衣類の輸入は30.7%減の338.8億ドルと、わずかではあるがより大きく落ち込んだ。仕出地別では中国が49.3%減の734.6億ドルとほぼ半減。ベトナムが11.1%減の69.4億ドル、バングラデシュが18.5%減の29.1億ドル、インドが33.3%減の17.5億ドルなど、いずれも大幅に減少した。

繊維製品輸入実績（1～7月）

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2019年	2020年	前年比(%)	仕出地	2019年	2020年	前年比(%)
中国	21,210	12,133	-42.8	中国	14,500	7,346	-49.3
ベトナム	8,335	7,408	-11.1	ベトナム	7,806	6,943	-11.1
インド	4,924	3,560	-27.7	バングラデシュ	3,567	2,905	-18.5
バングラデシュ	3,700	3,007	-18.7	インドネシア	2,599	2,082	-19.9
インドネシア	2,790	2,277	-18.4	インド	2,624	1,751	-33.3
世界	64,847	46,785	-27.9	世界	48,866	33,876	-30.7

(出所) 米商務省

・企業動向

- ・ 米国の炭素繊維メーカーHexcel は、同じく米国で大手の航空機エンジン、産業用エンジンなど産業機器用の制御システムおよび制御システムコンポーネントメーカーの Woodward と合併すると発表した。合併後の社名は Woodward Hexcel、米コロラド州 Fort Collins に本社を置く。航空宇宙や防衛産業の大企業として、年間売上高は53億ドル超となる見通し。
- ・ Walmart と米国内の化粧メーカーや大手繊維小売企業が連携し、サステナブルな社会に向けた新しいプロジェクト「Accelerating Circularity」を立ち上げた。同プロジェクトは繊維産業における廃棄物削減や、リサイクル減少を使用した新製品への転換を進めるとしている。
- ・ トランプ米国大統領は4月3日、国内での新型コロナウイルス感染者が拡大する中、マスクなどの個人用防護具（PPE）の輸出制限を検討するよう、国土安全保障長官に指示する覚書に署名した。輸出制限を検討すべき品目は、次の5点。①N95マスク、②その他のマスク（N99、N100、R95、R99、R100、P95、P99、P100など）、③エラストマー製マスクとフィルターおよびそのカートリッジ、④PPE向けサージカルマスク、⑤PPE向け手袋もしくは医療用手袋。

10) 欧州

・合繊生産

2020年の合繊生産は未発表のため、2019年の欧州の合繊生産について CIRFS が発表した数値を掲載する（前号は化繊協会推定を含む）。

品種別で見ると、紡織用ポリエステルFが3.5%減と減少したが、2017年以降3年連続で2.5万トン規模と高水準を維持している。産資用はナイロンFが横ばい、ポリエステルFが1.1%増加した。ポリエステルSは2.0%増加した。

主要合繊の生産高

	(1000 ^{トン} 、%)				
	2016	2017	2018	2019	前年比
産資用ナイロンF	107.6	114.5	114.0	114.1	0.0
紡織用ポリエステルF	195.4	254.4	257.1	248.2	-3.5
産資用ポリエステルF*	139.8	141.9	137.2	138.7	1.1
ポリエステルS*	691.1	709.1	714.2	728.4	2.0

(出所) CIRFS

(注) その他の品種は未発表。*ベラルーシを含む。

・企業動向

- ・ 欧州の6つの繊維クラスターが協同で欧州経済利益団体である「EU-TEXTILE 2030」を設立した。参加クラスターは「TECHTERA (仏)」、「ATEVAL (西)」、「AEI TEXTILES (西)」、「CLUTEX (チェコ)」、「PO. IN. TEX (伊)」、「SACHSEN!TEXTIL (独)」の6つで、テクニカルテキスタイルを専門とする1000社以上からの構成される。「EU-TEXTILE 2030」は活動の目的をハイテク繊維やテクニカルテキスタイルのイノベーションと国際化であるとしている。
- ・ 独大手自動車メーカーAudiが、新モデルAudiA3のシートファブリックに最大89%までリサイクルポリエステルを使用すると発表した。同社によるとシートやカーペット、その他断熱材など合わせて1台当たり100本以上の回収PETボトルを使用している。
- ・ 新型コロナウイルス(COVID-19)の拡散防止に向けて、マスク用不織布や保護具の生産が拡大された。
 - 大手セルロースメーカーLenzingはオーストリアのアパレルメーカーPalmer's Textileとマスクなど個人用保護具の生産販売のための合弁会社を設立した。
 - トルコ不織布大手のGulsan Holdingがマスク用のメルトブロー不織布の生産ラインを新設する。2020年11月に稼働開始予定。
 - 独不織布メーカーSandler Groupはマスク向け不織布の供給拡大を図り、Schwarzenbach工場を増設すると発表。
- ・ 独Freudenbergによる英Low&Bonar PLCの買収が完了した。Low&Bonarはテクニカルテキスタイルを産業用途で展開している。

合繊4品種需要実績(2020年1～6月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2020年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	37,438	89.8	84.6
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	67,294	89.5	87.8
	計 (輸入)	104,732 (57,269)	89.6 (91.2)	86.6 (86.5)
輸出 (原糸、加工糸)		2,145	65.9	73.5
需要計		106,877	89.0	86.3
在庫		10,708	107.5	112.7

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2020年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	8,666	87.6	79.9
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	59,060	87.1	88.7
	計 (輸入)	67,727 (30,888)	87.2 (86.3)	87.5 (83.8)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		3,959	129.2	119.6
需要計		71,686	88.8	88.8
在庫		15,371	119.9	114.1

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2020年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	7,808	82.3	70.0
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	24,515	87.0	77.5
	計 (輸入)	32,323 (12,814)	85.8 (96.8)	75.5 (82.3)
輸出 (原糸、加工糸)		9,367	96.2	87.6
需要計		41,690	87.9	77.9
在庫		15,189	133.8	135.7

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2020年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	9,334	84.3	70.5
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	2,709	93.2	77.9
	計 (輸入)	12,043 (411)	86.1 (145.2)	72.1 (101.0)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		28,191	76.5	71.3
需要計		40,234	79.1	71.5
在庫		14,733	114.4	133.5

(注)国内需要の()内数値は輸入量